

チョウ類の 永続的保護に向けて

2019年 3月2日 (土) 10時～

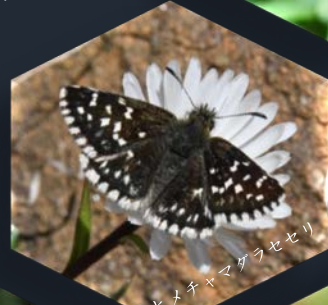
大阪府立大学I-siteなんば

*大阪府立大学中百舌鳥キャンパスではありませんのでご注意ください。

日本鱗翅学会自然保護委員会では、蝶類と蛾類の保全について広く知っていただくことを目的として、5年に1度「自然保護セミナー」を開催しています。今回は10回目にあたり、2019年に大阪で開催します。内容は、チョウ類保全・保護の優良事例の紹介、ガ類の衰退と保護、アリと鱗翅類の関係、都道府県のチョウ、などです。お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。



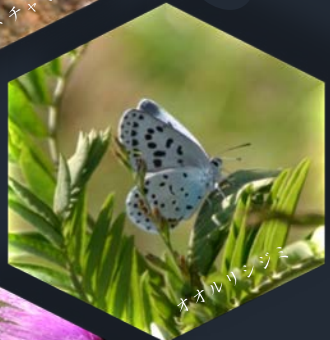
ツシマウラボシシジミ



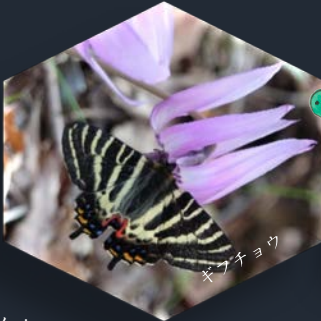
ヒメチャマグラセセリ



ミヤマシロチョウ



オオルリシジミ



ギフチョウ



シルビアシジミ



ヒョウモンモドキ

プログラム:

- 10:00 開会・挨拶
- 10:10 基調講演
「日本産チョウ類の現状と課題—自然保護助成基金によるツシマウラボシシジミ保全活動を中心に」 矢後勝也
- 10:45 事例紹介一部
「北海道におけるアサマシジミの保全活動」 中村康弘
「北海道のヒメチャマグラセセリの棲息現状と保護活動について」 渡辺康之
「群馬県のミヤマシロチョウ」 松村行洋
- 12:00 昼食休憩 (自然保護委員会)
- 13:00 事例紹介二部
「大阪国際空港周辺のシルビアシジミ」 平井規央
「オオルリシジミが繋ぐ研究活動と社会貢献」 江田慧子
「京都乙訓地域のギフチョウとウラジロミドリシジミの保全活動」 宮崎俊一
「広島県のヒョウモンモドキ」 岩見潤治
- 14:40 休憩
- 14:55 「絶滅危惧種カバタムクゲエゲシヤクの再発見と生態解明」 阪本優介
「草索性ガ類の現状を把握する」 神保宇嗣
「アリが居なければ、チョウは守れない？」 上田昇平
「アリに寄り添う奇妙なガ類」 小松貴
「都道府県のチョウの選定の意義と候補種の提案」 石井実
- 17:00 総合討論
- 17:30 閉会
- 17:40- 懇親会 (同じ会場内で行います)
参加費: セミナーは無料 (会員外でも自由に参加できます。懇親会費は6,000円を予定)

I-siteなんばまでのアクセス
 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル2階
<http://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/about/map/>
 南海電鉄「なんば駅 (中央出口)」下車、南海線東側の道を南へ約800m、徒歩約12分
 地下鉄御堂筋線「なんば駅 (5号出口)」下車、南へ約1,000m、徒歩約15分
 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅 (1番出口)」下車、東へ約450m、徒歩約7分

主催: 日本鱗翅学会自然保護委員会
 後援: 伊丹市昆虫館 (公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団)、NPO法人日本チョウ類保全協会、(社)大阪自然環境保全協会、大阪昆虫同好会、大阪みどりのトラスト協会、関西自然保護機構、榎原市昆虫館、日本蛾類学会、日本環境動物昆虫学会、日本昆虫学会、南大阪昆虫同好会
 問い合わせ先: 大阪府立大・平井 072-254-9413、n_hirai@envi.osakafu-u.ac.jp

